

[追悼]

追悼 衣笠弘直氏

赤木 三郎*

本会会員の衣笠弘直氏は昨年秋の1999年9月30日に急逝された。氏は鳥取大学学芸部卒業後、兵庫県立浜坂高等学校湯村分校勤務し、生徒の採集した昆虫化石の転石を手がかりに温泉町海上の照来層群に露頭を発見、今では現地は昆虫化石の宝庫として知られ、化石昆虫館が近くに建っている。平成11年4月に鳥取県立鳥取聾学校を最後に38年の教員生活を終えられ、自由な研究者として活動はじめられ、これからの成果が大いに期待されていた矢先である。

氏は大阪市立大学へ内地留学、大阪市立自然史博物

館の日浦勇氏、宮武頼夫氏などの指導で昆虫化石の研究に専念され、野尻湖発掘調査団では昆虫グループに属し、数々の成果を上げられた。また、鳥取県気高町の宝木泥岩層や同県佐治村の辰巳峠層から昆虫化石を発見して公表されるなど研究に尽くされたほか、後進や多くのファンを育てられた。最近では化石の研究から現生の昆虫研究に没頭された。

氏の研究はいずれ昆虫化石の研究に活かされる筈で、このことを自分の責務と考えて居られたが思い半ばにして他界された。心からご冥福をお祈りする。